

第1章 計画に関する基本事項

1 概旨・背景

社会・経済状況の変化や本市都市づくりに関する計画を踏まえて、市内の人の移動を中心とし、**将来にわたり持続可能な交通の実現に向け、本計画の改定を行うこと**としました。

2 位置づけ

国の「交通政策基本計画」、本市の「横浜市基本構想」や「横浜市中期4か年計画」、「横浜市都市計画マスターplan」を踏まえ、他の分野別計画と整合を図りつつ、**交通分野に関する政策体系を示すもの**です。

3 改定の主なポイント

超高齢社会の到来や東日本大震災の発生、訪日外国人の増加、ICT技術の進展等の社会情勢の変化に合わせ、**新たに福祉・観光・防災などの分野との連携を重視**した計画としています。

具体的には、ドアトウドアの公共交通である**タクシーの活性化や福祉ニーズと連携した交通サービスの提供、観光・MICE施策と連携した都心臨海部の多様な交通手段の提供、防災や減災などの施策を新規・拡充**しています。

4 目標年次

2030年頃

5 推進体制

市民・企業、交通事業者、行政等の**多様な主体**が交通政策の**目標や理念を共有し、責任と役割のもと、取組の連携強化**を図りながら推進します。

第2章 横浜の交通を取り巻く状況と課題

1 人口減少、超高齢社会の到来に伴う対応

(1) 高齢者を取り巻く移動環境

一般に、高齢になるにつれて徒歩での移動可能な範囲が狭くなり、自動車を運転することが困難になるなど、**移動に関して様々な制約**が増えていきます。

(2) 人口構成の変化が公共交通サービスに与える影響

人口減少により通勤や通学の定期的な移動が減り、**高齢者人口の増加**により通院や買い物等の**多様な移動ニーズ**が発生します。

また、需要の減少により**地域の公共交通サービスの水準の低下**が危惧されます。

2 横浜の都市構造を踏まえた対応

(1) 交通ネットワークの特性

鉄道ネットワークや道路、駅前広場の整備とともに、路線バスネットワークが構築されていますが、**エリアごとに運行頻度などサービスの水準に差**が生じています。

(2) 地形・地理的な特性

郊外部の**高低差のある街**の多くは、高齢化の進展が顕著となっており、**徒歩による移動にも多くの制約が伴う市民が増加**しています。

3 グローバル化の進展や都市間競争への対応

(1) 広域的な人の移動の変化

ビジネスや文化・観光などあらゆる分野で国際的な人の移動が活発になり、**訪日外国人旅行者は年々増加**し、今後も増加が見込まれています。

(2) 横浜の活力をけん引する都心臨海部

都心臨海部は、横浜を象徴するエリアであり、横浜全体の発展をけん引する役割を担っています。恵まれた立地を活かし、引き続き横浜を代表するエリアとして将来にわたり発展していくために、**移動環境の創出が必要**です。

4 防災・減災対策や安全・安心に関する社会的要請への対応

(1) 防災・減災への意識の高まり

交通インフラは、東日本大震災を契機として、**復旧活動において重要な役割**を担うことが再認識されました。

(2) 交通インフラの老朽化

高度成長経済期に整備された交通インフラは**計画的な補強・補修が必要な状況**です。

(3) 交通事故の防止の必要性

高齢者ドライバーによる交通事故や駅ホームからの転落事故といった**痛ましい事故が発生**し、対策が必要な状況です。

5 地球温暖化や地域環境への対応

(1) 地球温暖化対策の必要性

本市の温室効果ガス排出量の約20%を運輸部門が占めており、**マイカーからの排出抑制**が求められています。

(2) 地域環境対策の必要性

交通分野の大気汚染や騒音問題など**地域の生活環境の維持・改善**に繋がる一層の交通施策が引き続き必要です。

第3章 横浜が目指すべき将来像

本章は、1月30日に公表された新たな中期計画の「中長期的な戦略」のうち、都心部と郊外部のまちづくり関連部分を掲載しています。新たな中期計画の策定状況に合わせて、内容を調整します。

1 都心部

人が、企業が集い躍動するまちづくり(成長と活力を生み出す都心部)

横浜の成長をけん引するエリア（都心臨海部・京浜臨海部・新横浜都心周辺等）の魅力をより一層向上させ、国内外から人や企業が集い活力を生み出す都心部を実現します。

- ◆都心臨海部・京浜臨海部・新横浜都心周辺等の魅力向上
- ◆人や企業が集まり、活躍できる環境づくり
- ◆人々の交流や回遊性を促す賑わいあるまちづくり

2 郊外部

人が、企業が集い躍動するまちづくり(誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部)

駅周辺の機能強化、自然豊かで良好な住環境、それらをつなぐ地域交通の充実などにより、誰もが愛着を持ち、「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部を実現します。

- ◆駅及び駅周辺の機能強化
- ◆住宅地の活性化・魅力向上
- ◆市民に身近な交通ネットワークの維持・充実
- ◆戦略的な土地利用誘導・まちづくり

第4章 基本方針・政策目標 及び 第5章 施策の方向

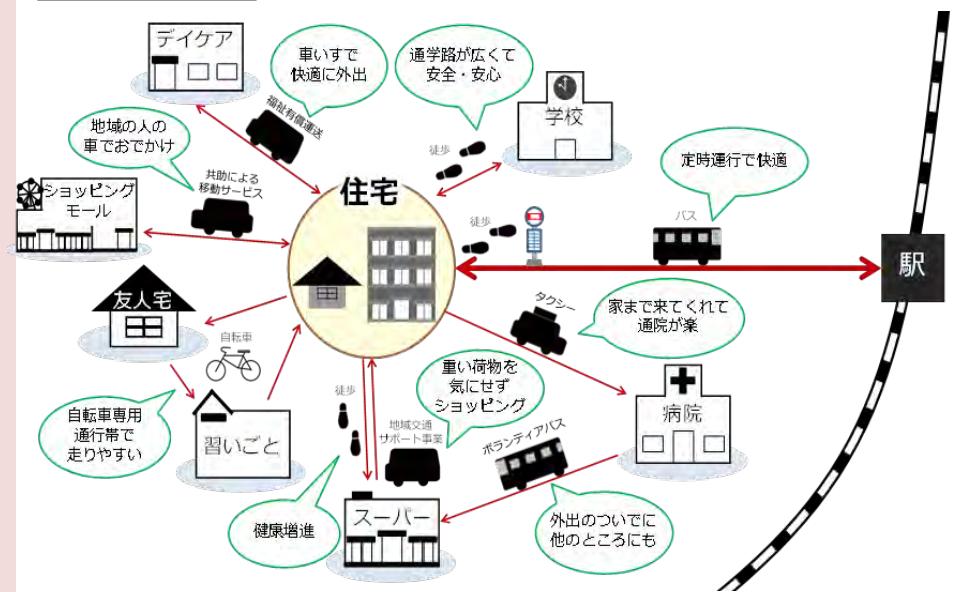
基本方針 1 市民生活の質向上につながる交通政策

◎政策目標1 誰もが移動しやすい地域交通の実現

誰もが安心して便利に利用でき、外出機会の増加につながる地域の移動環境・交通サービスを創出します。

- 施策の方向 1-1 路線バスの維持・充実
 - 施策の方向 1-2 タクシーサービスの活性化
 - 施策の方向 1-3 多様な主体による新たな交通サービス実現
 - 施策の方向 1-4 歩行者空間・自転車の利用環境の整備

本編 P.43~54



政策目標 2 バリアフリーの一層の推進

高齢者や障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むため、交通分野でのバリアを取り除き、誰もが円滑に移動できる交通環境を整備します。

- 施策の方向 2-1 バリアフリー化に向けた施設の整備、車両の導入
 - 施策の方向 2-2 心のバリアフリーの普及・啓発支援

本編 P.55~60

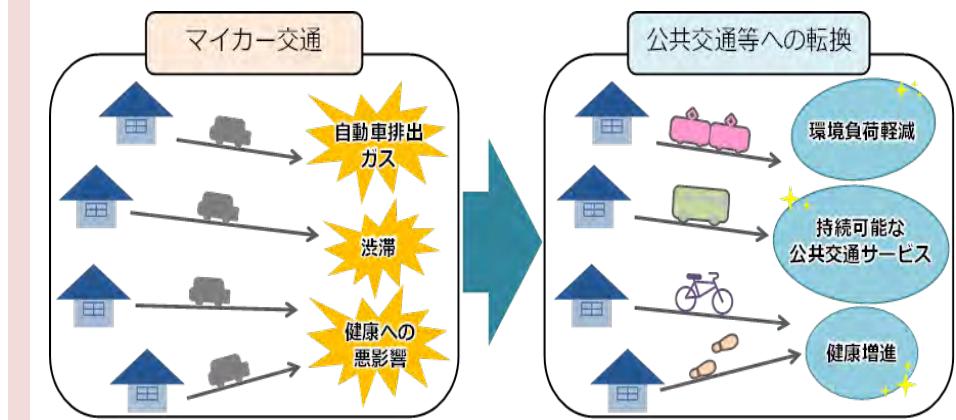


政策目標 3 マイカー交通から公共交通等への転換促進

過度にマイカーに依存するライフスタイルを改め、徒歩・自転車・公共交通による移動を促進し、環境負荷の軽減や健康増進、持続可能な公共交通サービスを実現します。

- 施策の方向 3-1 公共交通や自転車の利用促進につながる環境整備
 - 施策の方向 3-2 マイカーから公共交通等への転換を促す啓発活動

本編 P.61~64



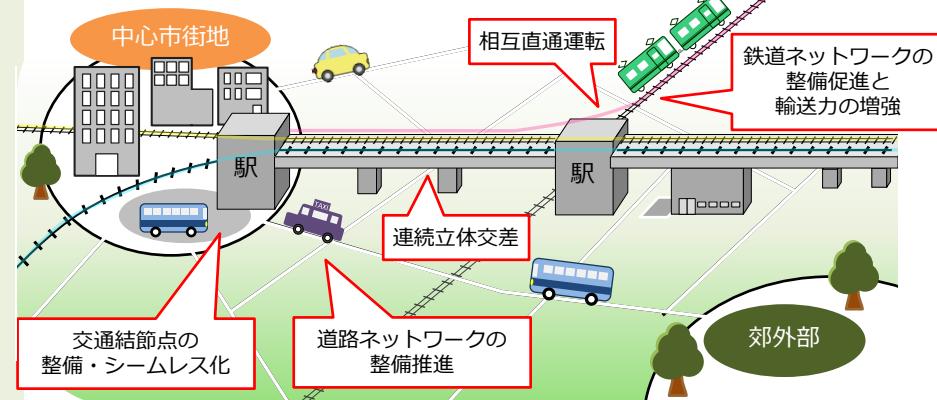
基本方針2 都市の成長を支え魅力を高める交通政策

政策目標4 移動の円滑化に向けた体系的な交通ネットワークの形成

市内の自動車交通渋滞の解消のため、道路ネットワークの充実や、通勤や通学のための主要な交通機関である鉄道ネットワークの形成、交通結節点の改善により移動の円滑化を図ります。

- > 施策の方向4-1 市内の道路ネットワークの整備推進
- > 施策の方向4-2 鉄道ネットワークの整備促進と輸送力の増強
- > 施策の方向4-3 交通結節点の整備・シームレス化

本編 P.65~71



政策目標5 横浜の競争力強化に資する広域交通ネットワークの形成

人や企業に選ばれる都市となるよう、経済面だけでなく、文化や観光面での交流が可能となる交通政策を進め、国内外との広域的な移動を円滑にする交通基盤を整備します。

- > 施策の方向5-1 広域的な道路・鉄道ネットワークの充実
- > 施策の方向5-2 國際クルーズ拠点機能の強化
- > 施策の方向5-3 國際空港へのアクセス強化

本編 P.73~78

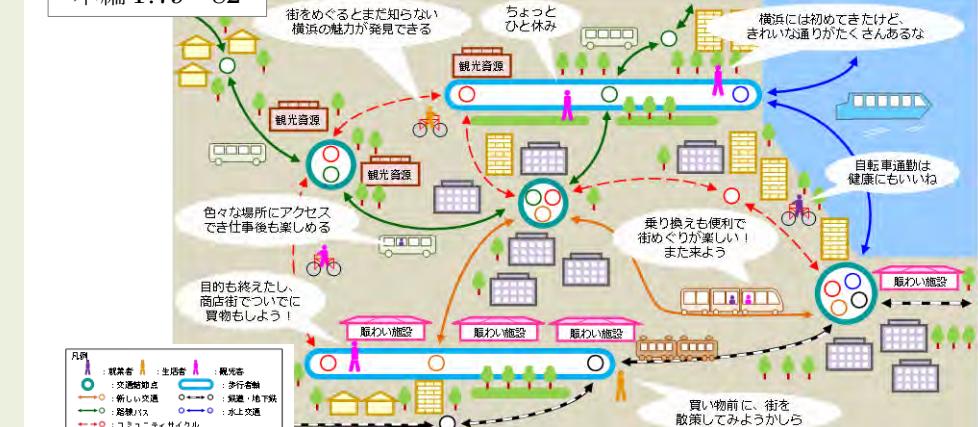


◎政策目標6 都心臨海部を楽しく快適に回遊できる多様な交通手段の提供

主要駅と主要施設とを結ぶアクセス性の向上や、複数の目的地を円滑に移動できる回遊性の向上など、集客・賑わいづくりにつながる魅力あふれる都心臨海部の交通環境を創出します。

- > 施策の方向6-1 都心臨海部における回遊性向上
- > 施策の方向6-2 来街者の滞在環境の整備

本編 P.79~82



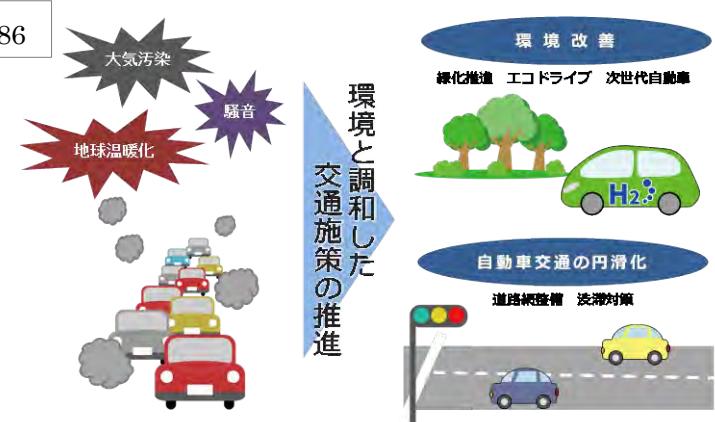
基本方針3 持続可能で安全安心な都市づくりに寄与する交通政策

政策目標7 環境と調和した交通施策の推進

体系的な道路ネットワークの整備や、環境負荷の低減につながるインフラ整備、その他道路緑化の推進、次世代自動車の導入拡大など環境と調和した交通政策の推進をします。

- > 施策の方向7-1 自動車交通の円滑化・道路緑化
- > 施策の方向7-2 環境にやさしい自動車の普及・啓発

本編 P.83~86

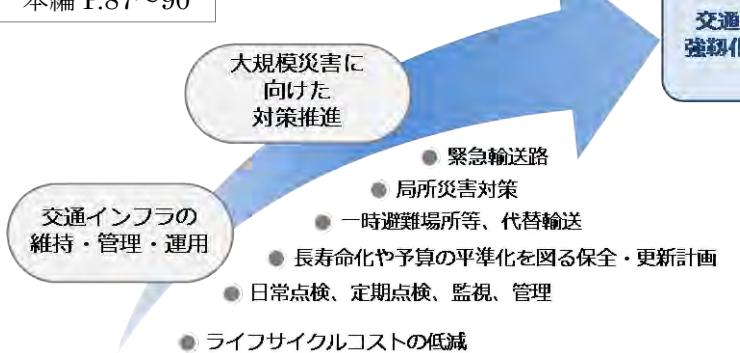


◎政策目標8 交通インフラの強靭化と長寿命化

大規模災害発生時の対応に加え、今後一斉に老朽化を迎える交通インフラの戦略的な維持管理・更新等を図ります。

- > 施策の方向8-1 災害時の交通確保など大規模災害に備えた対策の推進
- > 施策の方向8-2 交通インフラの適切な維持・管理・運用

本編 P.87~90



◎政策目標9 日常生活を安全・安心に移動できる交通環境の整備

自動車や鉄道による事故のない社会を目指して、子どもを事故から守り、高齢者や障害者が安全に移動できる交通環境の整備や交通安全教育・啓発を推進します。

- > 施策の方向9-1 安全に移動できる環境の整備
- > 施策の方向9-2 交通安全教育・啓発の推進

本編 P.91~95

